



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月6日

上場会社名 日本化学産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4094 URL <http://www.nihonkagakusangyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤英二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 百瀬 譲

TEL 03-3873-9223

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	16,274	11.5	1,934	3.5	2,067	2.5	1,457	4.7
29年3月期第3四半期	14,589	4.9	1,869	59.5	2,016	53.9	1,392	48.0

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,748百万円 (56.9%) 29年3月期第3四半期 1,752百万円 (220.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	73.30	
29年3月期第3四半期	70.46	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	41,439	34,019	82.1	1,697.42
29年3月期	37,567	31,229	83.1	1,580.65

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 34,019百万円 29年3月期 31,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		10.00		11.00	21.00
30年3月期		12.00			
30年3月期(予想)				13.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

投資者が通期業績を見通す際に有用と思われる情報

平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,830	5.0	2,700	5.6	2,810	3.6	1,960	7.7	99.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	20,680,000 株	29年3月期	20,680,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	638,208 株	29年3月期	922,910 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	19,890,596 株	29年3月期3Q	19,757,163 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1.経営成績等の概況(3)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 今後の見通し	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年12月31日）におけるわが国経済は、世界経済の回復、円安、株高傾向継続により輸出が堅調に推移し、鋳工業生産も増加傾向となりましたが、米国政権の政策運営の不透明感や北朝鮮情勢の緊迫化、中東情勢の不安定化、為替変動のリスク、また、国内においても人手不足の深刻化や個人消費も低調に推移していることから、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

このような状況のもと、当社グループは、薬品・建材事業ともに新製品や新規用途開発品を中心とした販売・生産数量の確保・拡大、新規ユーザーの開拓等に加え、生産拠点・工程の最適化等、価格競争力を増すための低コスト体質強化に取り組んでまいりました。また、海外（タイ）子会社においては平成28年12月に事業を停止したネクサス・エレケミック社の清算に向けての法的な対応、サイアム・エヌケーエス社における車載用関連製品等の安定生産、増産体制の確立に加え、めっき製品の新規ユーザー開拓、国内においては福島第一工場における二次電池用正極材受託加工の安定供給および月産600トンへの増産体制構築等の具体的課題への対応にも尽力してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループ全体の売上高は、前年同四半期比1,684百万円11.5%増の16,274百万円、営業利益が前年同四半期比65百万円3.5%増の1,934百万円、経常利益が前年同四半期比50百万円2.5%増の2,067百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同四半期比65百万円4.7%増の1,457百万円となりました。

なお、ネクサス・エレケミック社は、清算に向けて法的な手続きを進めておりますが、清算による連結業績への影響は軽微なものと考えております。

セグメントの業績は、次のとおりとなります。

[薬品事業]

主力の薬品事業は、国内においては、納入先の複数購買化、生産拠点の海外シフト等の厳しい事業環境は継続しましたが、景気回復を受け受託品を除く従来製品が第3四半期に入り、持ち直しの兆しを見せました。また主要原料である非鉄金属の市場価格の上昇に伴う売価アップおよび二次電池用正極材受託加工も600トンへの増産体制構築により次第に生産数量も上向いてきたことから、売上高は前年同四半期比1,616百万円13.3%増の13,744百万円となりました。

利益面では、国内においては、第3四半期において生産数量が増加したことを主因に増益となりましたが、一方で海外子会社のサイアム・エヌケーエス社において、原料価格の上昇やネクサス・エレケミック社からの固定資産、人員の一部受入れ等による利益の減少等もあり、営業利益は前年同四半期比90百万円5.8%増の1,657百万円になりました。

[建材事業]

消費税増税前の駆け込み需要の反動減の影響等により新設住宅着工戸数が本格的な回復までには至らず、住宅建材関係において、目標としていた新製品の一部の実績化は達成したものの、全体としては主力製品である防火通気見切り縁が伸び悩み、売上高は前年同四半期比67百万円2.8%増の2,529百万円にとどまり、営業利益は前年同四半期比30百万円4.4%増の725百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金が設備投資の増加等に伴い減少したものの、売上債権、たな卸資産が増加したことにより、前連結会計年度末比404百万円増の24,466百万円となりました。一方、固定資産は、二次電池用正極材受託加工の更なる

増産体制構築のための設備投資が増加したことにより有形固定資産が前連結会計年度末比 887 百万円増の 6,917 百万円となり、投資その他の資産も投資有価証券が株式取得および株価の上昇で前連結会計年度末比 2,563 百万円増の 9,987 百万円となったことにより、前連結会計年度末比 3,467 百万円増の 16,972 百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ 3,871 百万円増の 41,439 百万円となりました。一方、負債は、流動負債が前連結会計年度末比 511 百万円増の 5,588 百万円となり、固定負債も前連結会計年度末比 569 百万円増の 1,830 百万円となったため、全体でも前連結会計年度末比 1,081 百万円増の 7,419 百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末比 2,790 百万円増の 34,019 百万円となり、その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の 83.1%から 82.1%となりました。

(3) 今後の見通し

平成 30 年 3 月期の連結業績予想につきましては、現在までのところ概ね当初予想の範囲内で推移しているため、平成 29 年 5 月 12 日公表の予想から変更いたしておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,506,772	13,285,983
受取手形及び売掛金	6,354,868	7,305,934
商品及び製品	857,495	1,101,224
仕掛品	1,066,476	1,145,205
原材料及び貯蔵品	998,978	1,340,495
繰延税金資産	162,286	161,663
その他	117,010	127,770
貸倒引当金	△1,770	△2,070
流動資産合計	24,062,118	24,466,207
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	1,676,983	2,459,938
その他(純額)	4,353,377	4,457,536
有形固定資産合計	6,030,360	6,917,474
無形固定資産		
	51,059	68,024
投資その他の資産		
投資有価証券	4,068,284	6,598,912
繰延税金資産	10,406	11,410
その他	3,346,826	3,378,567
貸倒引当金	△1,570	△1,570
投資その他の資産合計	7,423,947	9,987,320
固定資産合計	13,505,367	16,972,819
資産合計	37,567,485	41,439,027
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,565,896	2,934,525
短期借入金	435,600	774,000
未払法人税等	415,709	224,504
賞与引当金	380,000	206,755
役員賞与引当金	30,000	26,250
その他	1,250,090	1,422,925
流動負債合計	5,077,296	5,588,959
固定負債		
繰延税金負債	769,664	1,310,659
環境対策引当金	9,532	9,532
役員株式給付引当金	—	18,700
退職給付に係る負債	302,046	309,498
資産除去債務	132,417	129,183
その他	47,441	53,069
固定負債合計	1,261,101	1,830,642
負債合計	6,338,397	7,419,602

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,034,000	1,034,000
資本剰余金	613,767	1,029,965
利益剰余金	28,389,090	29,389,193
自己株式	△461,659	△378,180
株主資本合計	29,575,198	31,074,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,511,124	2,713,374
為替換算調整勘定	234,725	308,063
退職給付に係る調整累計額	△91,960	△76,992
その他の包括利益累計額合計	1,653,889	2,944,445
純資産合計	31,229,088	34,019,424
負債純資産合計	37,567,485	41,439,027

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	14,589,561	16,274,368
売上原価	10,834,361	12,316,896
売上総利益	3,755,200	3,957,471
販売費及び一般管理費	1,885,640	2,022,884
営業利益	1,869,559	1,934,586
営業外収益		
受取利息	15,903	9,136
受取配当金	68,568	82,209
不動産賃貸料	42,892	46,804
その他	54,559	45,649
営業外収益合計	181,924	183,800
営業外費用		
支払利息	9,053	6,885
売上割引	6,007	6,701
賃貸収入原価	18,931	20,848
為替差損	—	14,997
その他	517	1,116
営業外費用合計	34,508	50,549
経常利益	2,016,974	2,067,837
特別利益		
固定資産売却益	292	10,990
受取補償金	6,104	—
特別利益合計	6,396	10,990
特別損失		
固定資産除却損	43,876	18,059
特別退職金	33,974	—
特別損失合計	77,851	18,059
税金等調整前四半期純利益	1,945,519	2,060,768
法人税等	553,369	602,835
四半期純利益	1,392,149	1,457,932
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,392,149	1,457,932

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,392,149	1,457,932
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	568,289	1,202,249
為替換算調整勘定	△227,128	73,338
退職給付に係る調整額	18,750	14,968
その他の包括利益合計	359,910	1,290,556
四半期包括利益	1,752,060	2,748,488
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,752,060	2,748,488
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年8月8日開催の取締役会決議に基づき、平成29年8月25日付で、住友金属鉱山株式会社を引受先とした第三者割当による自己株式284,900株の処分を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が357,417千円増加、自己株式が142,581千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,029,965千円、自己株式が378,180千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	12,127,687	2,461,874	14,589,561	—	14,589,561
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,127,687	2,461,874	14,589,561	—	14,589,561
セグメント利益	1,566,988	695,187	2,262,176	△392,616	1,869,559

(注) 1. セグメント利益の調整額△392,616千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社本社での総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,744,542	2,529,825	16,274,368	—	16,274,368
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,744,542	2,529,825	16,274,368	—	16,274,368
セグメント利益	1,657,539	725,534	2,383,073	△448,486	1,934,586

(注) 1. セグメント利益の調整額△448,486千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社本社での総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。